



## 生協労連パート部会ニュース

NO64 2006年5月19日発行

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-9 南部ビル3F  
tel 03-3408-0067 fax 03-3408-8955

パート 部会 の な に ぬねの	なかないで にげないで ぬけめなく なつつぼく のしつけて	あしたを見つめ歩きましょう 明るい職場をつくりましょう しっかり実利をとりましょう 暮らしと生協を語りましょう 差別を返上しちゃいましょう
---------------------------------	---	---

### 06パート春闘 善戦中です！！

2006年春闘は、格差の広がりがかつてないほど「パート春闘」が社会的に鮮明になり、大企業の利益増と「景気回復」を追い風に、パート労働者にも久しぶりに「賃上げ春闘」を期待したたかいました。国民春闘共闘では「均等待遇」を前面に出し、人手不足を武器にして、賃上げ、企業内最賃の前進をめざしました。5月12日現在181組合で平均12.4円の賃上げを実現しています。各組合が4月末決着をめざし、5円、10円、20円、建設関連労連の組合では時間額100円アップなどの回答を引き出しています。

連合パート共闘会議（15産別）の妥結水準は昨年より2.2円増え12.8円となっています。ローカルスーパーを組織するUIゼンセンは13円（70組合平均）、サービス・流通連合で14.4円、高島屋も4年ぶりに定昇込みで一人平均11円を引き上げています。

この間パートの人手不足は全国・各産業規模で表面化しており、新規募集の時間給が軒並み上がっています。今、経営にとって労働者の安定確保は大きな課題となり、これ以上の雇用の流動化には限界があるという見方も出てきています。大手流通業界を中心にパートや派遣などを長期的戦力として取り込み始め、優秀なパートを囲い込み、競争力を強めるねらいでパートの正社員登用の動きが出てきています。一方で派遣や請負などの求人が全国で激増しており、低い労働条件も目立っています。

### 「大変な時こそみんなでがんばろう！」と5月に入っても粘り強くたたかっています！！ 暮らしが厳しい！ 働き方も厳しい！ 頑張れる前進が欲しい！

生協労連は厳しいたたかいを続けています。ベアアップを実現できたのは、東海コープパート5円、岐阜大5円、しが2円、大阪外大30円、やまぐち10円、エフ10円の6単組です。東海コープのなかまは、一次回答は事務職の3人だけが対象ということで、スト権確立・行使を視野に入れた交渉方針と意思統一をして90人のなかまが団体交渉を行い全員の底上げをかちとりました。しがの2円も1円の回答にもう1円上積みさせて実現させた2円です。パートが働き続け、生協を今後も支えていくためにも賃上げは切実なものになっています。

目に見える成果を実現するために「大変な時粘り強くこそがんばろう！」と関西地連では統一闘争を続けています。京都パートのなかまは、「パートの働きを正當に評価し、せめて1円でも！」「正規引き上げの原資と同額のパート賃上げ・処遇改善を！」と再回答を迫り、5月23日に再回答の約束を引き出しています。多くの職場のなかまが要求をひとつでも目に見える成果として実現しようと全国での奮闘が続いています。

### アルバイトや嘱託で働くなかまの要求の実現

企業内最賃や均等待遇のとりにくみのなかで、パート以外なかまの要求実現に向けたとりにくみがされ、成果をかちとっています。

東都定時労組は事務職アルバイトの時給を10円引き上げ840円にしました。エフでは専門スタッフの職能時給を一律1,000円引き上げを実現しています。みやぎではアルバイトの時給を5円引き上げを実現し、企業内最賃を635円にしました。山形の共立社でも臨時パートの時給10円引き上げ690円としています。

アルバイトの処遇改善は均等待遇の実現としても重要なとりにくみです。加えて60歳以上の継続雇用制度の4月からスタートで、アルバイトの処遇改善はますます課題として大切になります。

## 2006年春闘とりくみ状況

### <賃金>

	要 求			回 答			前 年 実 績		
	時給アップ		時給	時給アップ		時給	自給アップ		時給
	金額	比率	平均	金額	比率	平均	金額	比率	平均
数	57	2	0	41	27	5	49	32	7
全体	74.9	7.06		4.25	0.29	10.40	4.21	0.32	796

### <一時金>

	要求	回答	前年回答
数	40単組	35単組	56単組
全体	1.38ヶ月	0.69ヶ月	0.67ヶ月

### 銀座マリオン前でパート労働者を激励！

3月に06年度予算が成立し、4月から医療改悪法案や「均等法改正」などの審議が開始されています。06春闘のたたかひの大きな節目として「もうひとつの日本4・14統一行動」が行なわれました。

終了後パート・臨時労組連絡会のなかま23人が16時から1時間「パート・臨時・派遣もみんなおんなじ労働者泣き寝入りはやめよう」と呼びかけました。若者の雇用の深刻さ、基幹労働者として働いても正規との賃金差別や低い処遇、不安定な雇用、人権を無視した扱いなどをなくしていこうとの訴えに立ち止まって聴く若者もいました。



### わたしたちのなかまが地域でこんなに頑張っています！

#### ～ 命に格差はみとめません！06年最賃闘争のとりくみ ～

「生活保護以下の最低賃金では健康で文化的な生活はできません。」と全国の生協労連のなかまパート12人、正規5人が地方最低賃金審議委員として、最低賃金引き上げの運動の中心となり奮闘しています。パートなど時給で働く不安定雇用労働の賃金は最賃の影響を受けやすく、最も弱い立場人の痛みがわかる人を労働者委員としていくことは重要なことです。しかし、この間審議委員に誰ひとり任命されることもなく、不当に排除され続けています。格差をなくし暮らせる賃金を求める訴えを街頭で行ったり、最賃生活体験にとりくみ現在の最賃金額ではとても人間らしい生活は無理で、憲法で保障されているはずのゆたかな生活など望むべくもないことを事実として広げてきました。おかやまやかごしまのなかまの最賃生活体験は地方最賃審議会に提出する意見書に活用され、地方の労働局での審議で実態を明らかにするのに役立つはずですが、格差社会が問題とされる中、暮らせる賃金と同じ仕事をしたら同じ賃金に、「均等待遇」が大きくクローズアップされています。全国一律最賃制の確立、時間額を1,000円にすること、課税最低限度額を180万円になどの要求実現に向け、地域でのとりくみを強めていきましょう。最賃の個人署名・団体署名のとりくみも強めましょう。

### アメリカいなるの政治からの転換を求めます

憲法を壊す動きに対し社会的連帯で反撃していこうという運動が大きく広がっています。働く者が大事にされる社会にしていくために、新自由主義とアメリカいなるの政治からの転換を求める流れが、今世界におきています。事実が見え、わかってくると一気に変わっていくことにつながっていきます。

憲法9条改悪による「戦争する国」づくりと一体の「戦争する国」を支える人づくりをめざす教育基本法の改悪には、多くの国民の総意として断固として反対していく運動をさらに強めていきましょう。